

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立森田養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	森田小学校との交流 ～絵しりとりをしよう～		
	単元(題材)の目標	ICT 機器を活用して森田小学校の友達とやり取りをし、楽しく交流をすることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	5・6 年 7 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 5・6年生の合同の学習である。話をして相手とやり取りをすることができる児童や、発語はないが視覚的教材を活用して、相手とコミュニケーションをとることができる児童がいる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad、パソコン、大型テレビ、カンファレンスカム		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Jamboard、Zoom		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	コミュニケーションをとることに困難さがある児童でも、ICT を活用し、絵を通して相手とやり取りをすることで、自分の表現したいことを伝える・表現したいことが相手に伝わる楽しさを知る。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 森田小学校の児童（5・6年生）と Zoom でつなぎ、お互いの様子を見ながら、Jamboard を活用して、相手校と交互に絵しりとりを行った。iPad は 2 台用意し、相手校が描いた絵を提示するものと、本校の児童が絵を描くものとして使用した。操作方法の手順表を作成したため、自分で操作することができた児童もいた。事前に iPad で絵を描く練習をしたこともあり、相手校の児童も、本校の児童が描いた絵を読み取って、しりとりを続けることができた。			